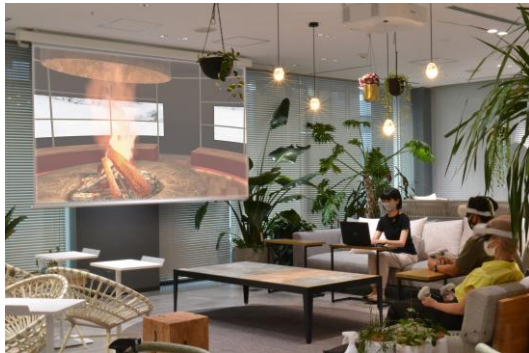


2022 年 9 月 7 日
三井デザインテック株式会社
monoAI technology 株式会社

三井デザインテック × monoAI technology メタバースを活用した新たな働き方 “第 4 の働く場”バーチャル空間の可能性を検証する実証実験を開始

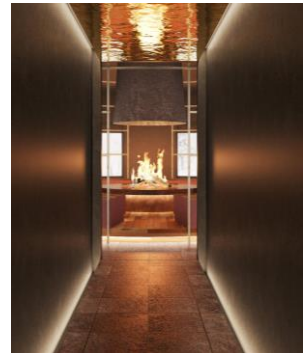
三井デザインテック株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：檜木田 敦）と、monoAI technology 株式会社（本社：本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：本城嘉太郎）は、オフィス・自宅・シェアオフィス（3rd place）に次ぐ“第 4 の働く場”として、メタバース（バーチャル空間）を活用した新たな働き方の可能性を検証する実証実験を三井デザインテック本社オフィスにて開始しました。



VR ゴーグルをつけた実証実験の様子(三井デザインテック本社)



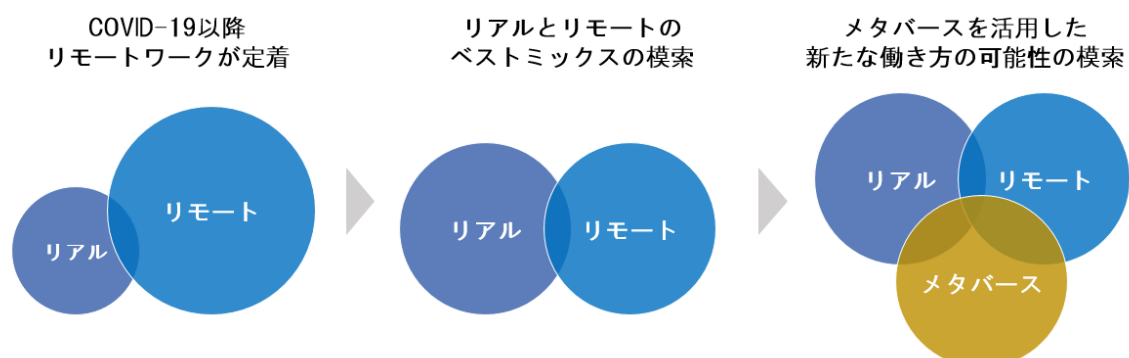
実証実験でメタバース上に創出したリフレッシュ空間



昨今のコロナ禍でテレワークが広く定着し、より柔軟な働き方が可能となった一方で、従来のリアルオフィスで行われていたコミュニケーションの減少により新たな課題も顕在化しつつあります。今般の実証実験では、今後のメタバースの定着を見据えて、バーチャル空間におけるコミュニケーションが、どのようなシチュエーションや目的において高い効果や満足度を得られるのかを検証します。

三井デザインテックでは、これまでも業務に最適な環境を選択する新たな働き方 ABW(アクティビティ・ベースド・ワーキング)について様々な検証を行い、その知見を活用して企業のオフィス課題の解決に取り組んでまいりました。今回、バーチャル空間を通じて体験価値を届けることを得意とする monoAI technology の技術を三井デザインテックの ABW の知見と掛け合わせることで、将来的にメタバースがオフィス・自宅・シェアオフィス（3rd place）に次ぐ“第 4 の働く場”として活用される新たな働き方の可能性を探り、今後の空間づくりに活用していきます。

働き方・働く場の変化



【実証実験の概要】

昨今のテレワークの定着にともない、従来のリアルオフィスで行われていたコミュニケーションが減少し、非対面による意思疎通の不足や、仕事のプロセスや成果が正当に評価されるかが不安であるなど、心理的ストレスの増加といった課題が明らかとなっています。

本実証実験では、バーチャル空間におけるコミュニケーションが、どのようなシチュエーションや目的において、高い効果・満足度が得られるのか、三井デザインテックが独自に定めた働く場における行動「10のアクティビティ※」に沿って検証しています。

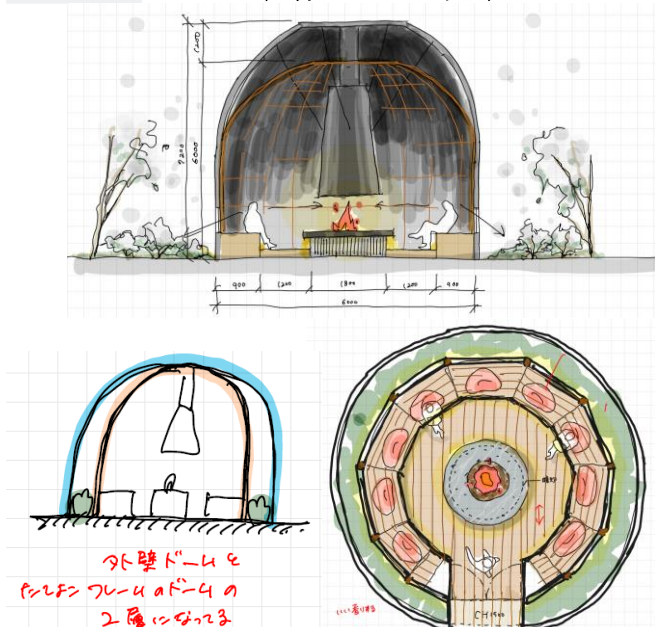
※「10のアクティビティ」は、三井デザインテックがこれまでのABWの研究を基に独自で定めた働く場における個人およびグループのすべての活動を10種類に分類したものです。

個人 の 行 動	定型業務 Process Work 	情報収集 Information Gathering 	拡散思考 Divergent Thinking 	収束思考 Convergent Thinking 	リフレッシュ Refreshment 
	日常で行う、やり方が定まった仕事	ネット検索 文献調査 等	考えを広げる アイデアを生み出す	考えをまとめる 形式化する	気分転換 休憩
グル ー プ の 行 動	- スケジュール登録や会議室予約をする - ワークフロー申請・承認の業務を行う - インフォメーションをチェックする	- 建築雑誌を見ながらトレンドキャッチする - 次のプロジェクトに参考になりそうな過去の事例をPCで探す	- 集めた情報をヒントにこれまでとは違う発想を思いつく - 図面やマテリアルを確認しながらデザインアイデアを膨らませる	- クライアントに提示するための資料を集中して準備する - 上司や同僚から得た意見を参考に自分の考えをまとめる	- 次の業務に向けて作業の手を休め、気持ちを切り替える - コーヒーを淹れたり飲んだりして一息つく
	情報共有 Information Sharing 	拡散打合せ Divergent Meeting 	収束打合せ Convergent Meeting 	アジャイル Agile Working 	雑談 Socializing 
	報告・連絡・相談などの情報共有	ブレスト・アイデア出しの打合せ	討議、まとめ・合意形成の打合せ	手分けして行う共同作業 迅速な並行作業 等	気軽な会話(フォーマル・インフォーマル含む)
	- 部会やチームで各自の進捗報告する - 社内掲示板や社内報等の情報から他部署の社員や業務内容を知る	- 図面やマテリアルを確認しながらデザインアイデアを出し合う - チームでモニターやホワイトボードを囲み、意見を出し合う	- チームで方向を確認しながら集中して提案資料をまとめる - プロジェクトの最終報告をし、今後の方向性を決定	- チームで個人作業と打合せを反復しながら資料を完成させる - プロジェクトスペースに進捗を掲示し、グループやチームの動きを常に確認する	- デジタルサイネージで流れてきたプロジェクト情報についてチーム員とリラックスしながら話す - オフィスでたまに会った同僚とお互いの近況を会話する

働く場における「リフレッシュ（気分転換・休憩）」の検証では、都心のリアルオフィスでは実現が難しい高天井・焚火の揺らぎ・雪景色といった空間を三井デザインテックが設計・デザインし、それを monoAI technology の技術でバーチャル空間に創出。リフレッシュ空間の中で、体験者が一定の没入感や心の安らぎを得られることがすでに確認できています。今後も、より効果の高いバーチャル空間をデザインするべく、更なる検討を行ってまいります。



リフレッシュ空間の設計図
(三井デザインテック)



メタバース上のリフレッシュ空間
(monoAI technology)



【担当者コメント】

三井デザインテック株式会社 スペースデザイン事業本部

ワークスタイルデザイン室 コンサルティンググループ グループ長 酒井 慎太郎



「Design Everything」という企業理念を踏まえて、今回メタバースでも弊社の空間デザインの知見を活用できないか検討を重ね、リアルとは異なる高い効用を得られたと実感しています。今後は、リアルな空間とメタバースを組み合わせることにより、より一層顧客に訴求する Workplace 提案に繋げていけるよう、連携先との検証を進化させてまいります。

monoAI technology 株式会社 代表取締役社長 本城 嘉太郎



弊社は、メタバース空間で人々が仕事をしたり、生活することにより、生まれた場所や国籍、ハンディキャップに関係なく、みんなが活躍できる社会が実現できると考えております。毎朝、全社員がメタバース空間に集まり全体朝礼を行うなど、物理的に距離が離れていても、メタバース空間を通して、あたかもその場に全社員が集まって会話をしているような環境作りを心掛けております。今回の実証実験でも、そのようなメタバース空間での価値の探求・立証に貢献できると考えております。

◆三井デザインテック株式会社とは

三井デザインテックは、主に住宅・オフィスをはじめとして、ホテル・医療・福祉・学校・賃貸マンションなど、あらゆる生活・事業に必要な施設のインフィル（内外装・設備・間取り）の創造を手がけ、お客様に「心地よい、満足できる空間」をご提供しています。2020年10月には、旧三井不動産リフォーム株式会社と統合し、新たに「三井のリフォーム」ブランドの住宅リフォーム、コンバージョンの領域も手掛けております。

そのほか、最新情報はオフィシャルサイトをご覧ください。

<https://www.mitsui-designtec.co.jp/>

◆monoAI technology 株式会社とは

monoAI technology は、「先進技術で、エンタメと社会の未来を創造する。」をミッションとし、通信ミドルウェア事業やXRソリューション基盤の開発、AIを用いたソフトウェア品質保証サービスの開発等で培った最先端技術を生かして、数万人規模で同時接続のできるメタバースプラットフォーム『XR CLOUD』を開発・運営しています。

そのほか、最新情報はオフィシャルサイトをご覧ください。

<https://monoai.co.jp/>

※本ニュースレターは、2社連名のため重複してご案内される場合がございますが、ご容赦いただきますようお願いいたします。

<報道に関するお問い合わせ先>

◆三井デザインテックについて

三井デザインテック株式会社 広報グループ：西谷・小野澤

E-mail：press@mitsui-designtec.co.jp TEL：03-6366-3131

◆monoAI technology について

monoAI technology 株式会社 広報：瀬野

E-mail：y.seno@monoai.co.jp TEL：080-9346-7565